

令和7年度 学校教育目標

思いやりにあふれ、ともに学び、自ら高める元気な子の育成

◆ 後期学校評価の結果をお知らせします ◆

12月にご協力いただきました学校評価アンケート（保護者・児童）の結果がまとまりましたので、ご報告します。学校評価を、今後の教育活動に活かしてまいります。

<令和7年度学校評価アンケート(後期)結果より>

○地域・保護者連携

肯定的評価（当てはまる+どちらかと言えば当てはまる） 上段は後期 下段は前期

	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	どちらかと言えば当てはまらない	当てはまらない	後期	今後の取組	
					前期		
保護者	学校の様々な機会や各種便り・ホームページで、教育方針や学校の様子がよく分かる。	27.1%	60.6%	11.2%	1.2%	87.7% 86.9%	今後も引き続き、時期に応じたお便りや児童の活動の様子が分かるお便りを心がけて作成していきます。また、tetoruによるお便り配信も継続していきます。

○学校生活の充実

肯定的評価（当てはまる+どちらかと言えば当てはまる） 上段は後期 下段は前期

	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	どちらかと言えば当てはまらない	当てはまらない	後期	今後の取組	
					前期		
児童	学校は楽しい。	59.1%	30.5%	5.9%	4.5%	89.6% 90.4%	一人でも多くの児童が「学校は楽しい」と感じることができるよう、これまで以上に児童一人一人に目を向け、思いに寄り添っていきます。また、どの児童にも「わかった」「できた」と実感できるような授業になるよう、教職員一同より一層努めていきます。
保護者	お子さんは、学校は楽しいと思っている。	48.7%	40.3%	7.9%	3.1%	89.0% 89.5%	

○学習（授業）

肯定的評価（当てはまる+どちらかと言えば当てはまる） 上段は後期 下段は前期

	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	どちらかと言えば当てはまらない	当てはまらない	後期	今後の取組	
					前期		
児童	授業は分かりやすい。	56.9%	35.1%	6.4%	1.6%	92.0% 92.4%	教材研究を行う際に、予想される児童のつまずきを学年で共有し、つまずきを生かした授業を実践することで、つまずいた児童も主体的に学習に取り組むことができ、「わかった」「できた」をさらに実感できるようにしていきます。
保護者	お子さんは、授業は分かりやすいと思っている。	37.0%	49.7%	11.7%	1.6%	86.7% 88.3%	

○学習（家庭学習）

肯定的評価（当てはまる+どちらかと言えば当てはまる） 上段は後期 下段は前期

	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	どちらかと言えば当てはまらない	当てはまらない	後期	今後の取組	
					前期		
児童	お家で、進んで学習に取り組んでいる。	40.9%	36.7%	17.8%	4.6%	77.6% 78.4%	今後も実施方法等の見直しを図り、改善を加えながら家庭学習ステップアップ週間をご家庭と連携しながら実施していきます。今後も、お子さんへの励ましの声かけをお願いします。
保護者	お子さんは、家庭学習（宿題や自学）に最後まで丁寧に取り組んでいる。	32.5%	42.2%	20.8%	4.5%	74.7% 77.0%	

○学習（表現力の育成）

肯定的評価（当てはまる+どちらかと言えば当てはまる） 上段は後期 下段は前期

	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	どちらかと言えば当てはまらない	当てはまらない	後期	今後の取組	
					前期		
児童	自分の考えを書いたり話したりしている。（1年） 自分の考えを根拠や理由をはっきりさせて書いたり話したりしている。（2～6年）	37.9%	41.9%	15.8%	4.5%	79.8% 79.0%	授業において、根拠が明確でない表現をする児童がいた場合には、「どうしてそう考えたの」「どこからわかったの」等、問い返しを行うことで根拠や理由をはっきりさせて表現するスキルを高めていきます。

○安心・安全な学校づくり

肯定的評価（当てはまる+どちらかと言えば当てはまる） 上段は後期 下段は前期

		当てはまる	どちらかと言えば 当てはまる	どちらかと言えば 当てはまらない	当てはまらない	後期	今後の取組
						前期	
児童	いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	67.3%	19.9%	6.9%	5.8%	87.2% 83.0%	児童がより安心して学校生活を送れるように、ほっとハートアンケートの際に児童との対話場面を設けるだけでなく、授業中や休み時間にも意図的な対話を充実させていきます。また、今後も「安心・安全な風土の醸成」を意識した学級経営ができるよう、校内での職員研修を継続して実施していきます。
保護者	お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	55.8%	32.8%	6.8%	4.5%	88.6% 90.0%	

○自己有用感・自己肯定感

肯定的評価（当てはまる+どちらかと言えば当てはまる） 上段は後期 下段は前期

		当てはまる	どちらかと言えば 当てはまる	どちらかと言えば 当てはまらない	当てはまらない	後期	今後の取組
						前期	
児童	自分にはよいところがある。	42.8%	36.6%	13.0%	7.7%	79.4% 80.0%	今後も、授業や行事、児童面談を中心に、児童一人ひとりの良さを認める声かけを行っていきます。また、ペア学年やたてわり班、クラスや学年で感謝の気持ちを伝え合う取り組みを行うことで、児童一人ひとりの自己有用感を高められるようにしていきます。
保護者	お子さんのよいところや頑張りを認めている。	43.8%	48.5%	6.8%	0.9%	92.3% 93.5%	

○主体性

肯定的評価（当てはまる+どちらかと言えば当てはまる） 上段は後期 下段は前期

		当てはまる	どちらかと言えば 当てはまる	どちらかと言えば 当てはまらない	当てはまらない	後期	今後の取組
						前期	
児童	委員会やたてわり活動、係活動など、自分から進んで取り組んでいる。	56.1%	32.8%	8.5%	2.6%	88.9% 86.8%	学年集会を定期的に行い、現段階でできたことや困っていること、課題などを教師と児童で確認する場を設定することで、より高い意識で児童が活動に取り組めるようにしていきます。また、今後も継続して、できたことを認めたりほめたりしながら、児童が頑張りを実感できる声かけを行っていきます。
保護者	お子さんは家でお手伝いをしている。	21.8%	38.4%	30.5%	9.2%	60.2% 60.7%	

○体力

肯定的評価（当てはまる+どちらかと言えば当てはまる） 上段は後期 下段は前期

		当てはまる	どちらかと言えば 当てはまる	どちらかと言えば 当てはまらない	当てはまらない	後期	今後の取組
						前期	
児童	体力をつけるために、体育の時間やその他の時間に体をよく動かしている。	61.3%	25.1%	10.4%	3.2%	86.4% 88.5%	全校で取り組んできた「スポチャレいしかわ」の取り組みを継続していきます。また走る運動について、より楽しく運動量を確保できるように、指導法を改善していきます。

○保護者からの自由記述より

自由記述でいただきましたご感想やご要望について、主なものを中心にまとめました。今後の学校運営に生かしていきたいと思っております。

【ご感想】

・子どもの学習面だけでなく、友達関係まで見守ってくださっていて安心できます。また、子どもが頑張った事に対して「頑張ったね」「おめでとう」と声をかけてくださることも、子どもはとても嬉しいと言っています。お忙しい中、一人一人に丁寧に関わってくださる先生方に感謝です。いつもありがとうございます。

・「最近、縦割りで上級生が読み聞かせとクイズをしてくれた。休み時間を使って一生懸命準備してくれたのが嬉しかった。」と言っていました。掃除もですが、上級生に教わり今度は下級生に…という縦割りはとても良いと思います。

・家庭学習の力がついたなと感じます。時々ステップアップ週間があることで、目標を持って取り組んだり、取り組み方の見直しの機会になったりしていると感じます。

【ご要望】

ご要望	学校回答
ペーパーレス推進して下さい。無駄なプリントが多すぎます。	テトル導入以降、学校ではペーパーレスを推進しております。しかしながら、必要に応じて、紙での配布も行っております。ご理解とご協力をお願いいたします。
運動会が午前中だけというのは短い気がしました。	熱中症対策として、今年度より午前だけの開催といたしました。短い時間でも子どもたちのがんばりが伝わるように努めていきます。
今年の運動会での保護者席が前の人も立ち見だのまま動かず、後方にいる人は観れずに終わったのが残念でした。前の人は出来るだけ座っていただくアナウンスをして頂くか保護者席を去年のように拡げて頂きたいです。全校生徒の親が来るとなるとキャパオーバーだったと思われます。	ご不便をおかけして申し訳ありません。今後、お子さんの活躍をしっかりと見届けていただけるよう、アナウンスにて保護者の場所移動をお願いしていきます。